



## 6月議会日程

- ◆本会議（開会、質疑、一般質問） 6月10日（金）
  - ◆本会議（一般質問） 13日（月）、14日（火）、15日（水）
  - ◆常任委員会 16日（木）
  - ◆常任委員会 議会運営委員会 17日（金）
  - ◆本会議（閉会） 20日（月）
- ※請願・陳情の締め切りは6月10日（金）

## 憲法9条生かし 平和とくらしを守る

6月議会が10日から始まります。ロシアによるウクライナ侵略が長引く中で、「敵基地攻撃能力の保有」や「軍事費をGDP 2%以上に」などの声が政府・自民党内で広がっています。「軍事対軍事」は戦争につながり一番危険な道です。「憲法9条」を生かして東アジアに平和をつくることこそ、求められています。

また、コロナ禍による景気低迷に加え、ガソリン、電気料金、食料品などの物価高騰が、市民の暮らしと営業を直撃しています。

6月議会では、平和、暮らしの問題とともに、且過市場火災、区域区分の見直し、コロナ対策、気候危機、補聴器助成、ヤングケアラー問題などを取り上げ、皆さんの願いを市政に届けます。

## 私たちが質問します



**荒川徹 議員（会派質疑、30分）**  
◆令和4年度一般会計補正予算案について  
◆戸畑区一枝岩ヶ鼻市民プールの廃止議案について



**藤沢加代 議員（会派質疑、30分）**  
◆北九州市いじめ問題専門委員会条例について  
◆地方創生臨時交付金基金条例について



**山内涼成 議員（一般質問、60分）**  
◆HPV ワクチン接種について  
◆補聴器助成について  
◆高齢者の交通政策について  
◆区域区分見直しについて



**伊藤淳一 議員（一般質問、30分）**  
◆医療機関でのクラスター発生防止について  
◆ワクチン接種後の後遺症について  
◆保健所職員の拡充と増設について



**出口成信 議員（一般質問、30分）**  
◆且過市場火災について  
◆省エネ・住宅リフォームについて  
◆生活保護世帯の下水道料金減免について



**永井佑 議員（一般質問、30分）**  
◆KGG・英語教育について  
◆ヤングケアラー支援について



**高橋都 議員（一般質問、30分）**  
◆門司港モデルプロジェクトについて  
◆事業者・生活困窮者支援について  
◆インボイス制度について

# みなさんの声届けます

## 物価高騰からくらし、営業を守る対策を 市議団、北橋市長、田島教育長に申入れ



緊急経済対策を梅本副市長に申し入れる市議団

北九州市議団は5月25日、物価高騰などから暮らしと営業を守るための8項目の緊急経済対策を、北橋健治市長らに申し入れました。

市に対して、物価急騰の影響を調査する「物価高騰対策本部」の設置、学校給食の納入業者に対する財政支援で、児童・生徒の保護者負担を招かないようにすることなど要望。政府には、消費税の5%への引き下げ、インボイス制度の中止、急騰している事業用燃油、原材料の引き下げ対策、生活保護基準の引き上げ、最低賃金の全国一律1500円への引き上げなどを求め、低所得者への北九州市独自の支援を要望しました。

対応した梅本和秀副市長は「低所得者の方々が重い負担になることは重々承知している」「支援策の周知は重要」などと答えました。

## グリーン成長戦略で意見交換

市議団は5月13日、市の「北九州グリーン成長戦略」について担当部局と意見交換しました。この戦略は、2050年のカーボンゼロを目指し、30年までに再エネと水素利活用を目玉に、技術開発に取り組みます。



グリーン成長戦略について意見交換する市議団メンバー（手前は市担当者）

参加した議員からは、「地元企業への支援が視野に入っていない」「雇用ではないか」「雇用や地域経済の活性化にもっと結びつけることが必要」「断熱効果もあり地元経済の活性化につながる住宅リフォーム助成の復活が効果的」などの意見・要望が出されました。

FOR ONE MILLION SMILES

# 100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2022.6.1

No. 569

発行 日本共産党北九州市議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

ホームページアドレス⇒ 日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



# 市場・商店街を火災から守れ

一日も早いガレキ撤去を  
店舗再開への支援を  
市場の文化を守ろう

## 市場・商店街火災の件数(1985年以降)

◆1985年	八幡西区	黒崎3丁目	1120㎡
◆1986年	八幡東区	中央町商店街	906㎡
◆1986年	戸畑区	岡田市場	1674㎡
◆1987年	八幡西区	折尾中央市場	1081㎡
◆1988年	小倉北区	黄金町市場	1153㎡
◆1989年	門司区	東門司商店街	2301㎡
◆1995年	戸畑区	旭町商店街	1731㎡
◆1996年	小倉北区	魚町3番街区	3772㎡
◆1996年	小倉北区	京町木造商店街	1291㎡
◆2001年	八幡東区	中央町商店街	818㎡
◆2001年	戸畑区	戸畑中央市場	982㎡
◆2002年	八幡東区	中央町商店街	965㎡
◆2011年	小倉北区	中原市場	780㎡
◆2011年	小倉北区	富野市場	3045㎡
◆2012年	若松区	あやどり市場	1546㎡
◆2012年	小倉北区	赤坂市場	323㎡
◆2013年	八幡東区	八幡中央商店街	681㎡
◆2014年	小倉北区	魚町銀天街	1612㎡
◆2016年	八幡東区	祇園町	1626㎡
◆2022年	小倉北区	旦過市場	1924㎡

※北九州市「消防年報」などから作成。1985年以降、2022年までの37年間に、市場や商店街で20件の火災が起きた計算になる。焼損面積は計29,331㎡に及ぶ。各区の件数は八幡西(2)、八幡東(5)、戸畑(3)、小倉北(8)、門司(1)、若松(1)

市は、被災した事業者「空き店舗活用事業」に特例措置を設け、120万円を上限に営業再開支援を行うとしています。

被災から営業再開のためには「一刻も早いガレキ撤去」が第一関門となりますが、公的支援がないのが実情です。鷹木議長は「各会派の意見を聞いて調整したい」と答えました。



田村衆議院議員、高瀬県議とともに被災した市場関係者から、悩みや要望などを聞き取る市議団メンバー＝4月24日



旦過市場の役員らと懇談する(右から)出口、大石の両市議＝5月10日

5月26日、市議団は鷹木議長に対し、火災を含めた災害で被災した市場・商店街に対し「ガレキの撤去」にも適用できる恒久的な支援制度の創設を市議会として市長に要請することを申し入れました。

### ガレキ撤去にも支援制度を 市議団、鷹木議長に申し入れ

2016年12月の新潟県糸魚川市の大火は、強風で被害が拡大したこともあって、糸魚川市と日本共産党をはじめ、全会派が一体となって「自然災害」と認定するよう国などに働きかけ、災害救助法、被災者生活再建支援法が適用されました。その結果、ガレキ撤去等の費用4億7700万円の予算が可決されるなど、被災者の大きな支援につながりました。この取り組みに学ぶことが必要です。

## 2年に1度 市内で市場・商店街火災!

北九州市内では2年に1度、市場・商店街で火災が起きている。市消防局の「消防年報」からこんな事実が浮かび上がりました。

消防局の統計によれば、1985年から2022年までの37年間で市内の市場・商店街で起きた火災は20件。市場・商店街は市民の台所であり、暮らしに欠かせない存在で、地域の祭りや文化の担

小倉北区の旦過市場火災で被災されたみなさまにお見舞い申し上げます

## 高齢者乗車券問題 「市民の会」が政策学習会



「高齢者の足を守れ」と開かれた学習会

今後、公共交通の充実を求めながら、JRやバスはもちろんで、タクシーにも利用できる高齢者福祉乗車券の実現を目指すことを確認しました。

5月14日、平和とくらしを守る北九州市民の会が高齢者の足を確保するための政策学習会を開きました。最初に北九州市の都市交通政策課長が、市の取り組みについて講演しました。

講演後の交流会では山内涼成市議が若松の現状について報告。参加者から、それぞれの地域の特性に合った対策とともに共通してタクシー利用の必要性が語られました。

## 高齢者の足を守れ

## インボイス導入で学校給食協会が意向調査

インボイス登録の意向についての調査表

公益財団法人北九州市学校給食協会が取引事業者に対し、来年10月1日実施予定の「インボイス(適格請求書)発行事業者」に登録するかどうかの意向調査を始めています。

給食協会は、給食納入業者がインボイスを発行できなければ、その分の消費税を負担することになります。そのため免税事業者は身銭を切って消費税を納付するか、取引をやめるかの選択を迫られます。

市議団は、実態調査とともに、中小事業者を取引から排除するインボイス制度の延期・中止を求めています。

### 日本共産党各議員の常任委員会配置 (◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員)

総務財政委員会	経済港湾委員会	教育文化委員会	保健福祉委員会	環境水道委員会	建設建築委員会
大石 正信	高橋 都	◎藤沢 加代	○荒川 徹	出口 成信	☆山内 涼成
		永井 佑	伊藤 淳一		